

空幕副長の欧州出張について

6月7日から18日の間、航空幕僚副長 門間 政仁空将はドイツを訪問し、ドイツ空軍創設70周年記念行事（LASCC: Luftwaffe Air and Space Chiefs' Conference）に参加するとともに、ベルリン国際航空宇宙ショー（ILA Berlin 2026）を視察しました。また、ノルウェー、フィンランド及びスウェーデンにおいてNATO航空コマンドが実施する、ラムシュタイン・フラッグ2026演習（RAFL26）を視察しました。

期間中、ドイツ空軍副総監ルッツ・コールハウス中将、フィンランド空軍司令官ティモ・ヘラネン少将及びスウェーデン空軍司令官ヨナス・ヴィクマン少将との会談並びに各国空軍参謀長等との交流を通じて相互理解を促進し、防衛協力・交流の推進を図るとともに、演習の実施状況を確認することで、NATO航空コマンドの取組に対する理解を深めました。

航空自衛隊は、引き続き欧州各国空軍と連携を強化し、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障は一体不可分であるとの認識を体現していきます。

